

NEWS RELEASE

2026 年 8 月 13 日

各 位

三井住友カード株式会社
株式会社 TOKIUM

三井住友カードと TOKIUM、法人決済領域における包括業務提携契約を締結 ～デジタルと AI の力で、革新的な法人決済体験を提供～

三井住友カード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：佐々木 丈也、以下「三井住友カード」）と株式会社 TOKIUM（本社：東京都中央区、代表取締役：黒崎 賢一、以下「TOKIUM」）は、法人決済領域における包括業務提携契約を締結しました。



第一弾として、三井住友カードと TOKIUM は「TOKIUM ビジネスカード」を提供予定です。経費精算や請求書管理などの業務システムと決済機能をシームレスに連携させることで、バックオフィス業務全体を最適化する新たな法人決済体験の実現を目指します。

1. 背景・目的

国内企業では、人手不足や業務の高度化を背景に、経費精算や請求書処理などの支出管理業務の効率化が課題となっています。一方で、経費申請、法人カードによる決済、証憑管理、会計処理などがそれぞれ別のシステムやプロセスで運用されているケースも多く、データ入力や照合作業、内部統制対応に多くの負荷が発生しています。こうした中、業務システムと決済機能を一体的に活用するニーズが急速に高まっています。また、非金融事業者による法人カード事業への参入も相次ぎ、金融サービスと業務サービスの融合を前提とした新たな競争環境が形成されています。

このような市場環境を踏まえ、三井住友カードと TOKIUM は、包括業務提携を通じて、業務システムへの決済機能のシームレスな組み込み、AI および BPO を活用した業務効率化の実現、ガバナンス強化と高度な支出管理の支援などを推進し、企業の DX（デジタルトランスフォーメーション）と経営基盤の強化に貢献してまいります。

2. 提携の概要

本提携の第一弾として、2026 年 12 月の申込受付開始を目指し、業務システムとシームレスに連携する法人カード「TOKIUM ビジネスカード」の開発を進めています。

また、本カードには、株式会社インキュリオン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：丸山弘毅）の次世代カード発行プラットフォーム「Xard」を活用しています。TOKIUM の経費精算・請求書管理サービスと一体で運用することで、経理業務の効率化と内部統制の強化を高いレベルで両立します。

三井住友カードと TOKIUM は、国内企業の生産性向上と持続的成長に貢献する次世代バックオフィス基盤の構築を目指します。

■「TOKIUM ビジネスカード」の特長

① 経理 AI エージェント「TOKIUM」と連携し、決済からその後の処理までワンストップで完結

決済後にカード明細が即時にシステムへ反映されます。明細の取得は AI エージェントが自動で行い、TOKIUM の管理画面上に反映された明細には勘定科目が自動補完されます。また、ルールに則らない利用があれば、AI エージェントがアラートを出し、差し戻しを行うことも可能です。

② カードの利用状況を一元管理

発行したすべてのカードの利用状況を、専用のシステムにログインすることなく、TOKIUM の管理画面でリアルタイムに確認できます。カードごとの上限金額や利用期間が設定可能です。予算外の支出や私的利用を防ぎながら、経理の管理負担を抑えられます。

③ オンラインで即時発行が可能

バーチャルカードは、管理画面からワンクリックで即時発行できます。部署や用途ごとにタグで整理でき、必要な枚数をオンラインで発行可能です。

④ 三井住友カードとの連携による、安心の発行体制

与信審査やバックファイナンス、カード利用代金の請求・回収などを三井住友カードが担う安定した基盤のもと、企業規模を問わずご利用いただけます。サーバー利用料や Web 広告費など、これまで法人カードの限度額を理由に銀行振込で支払っていた高額の決済も、本カードに集約できます。



3. 今後の展望

両社は今後、経理特化型 BPO サービスや AI エージェントによる業務自動化などの領域においても連携を進め、法人カードを起点とした業務効率化の高度化を進めて、企業のバックオフィス業務の総合的な支援を推進してまいります。

以 上